



七草がゆを試食しました。

1 月 10 日の昼食時に、園児全員が、七草がゆを試食しました。子どもたちは、おいしそうに七草がゆを食べていました。七草がゆの由来には、青菜の摂取が不足しがちな時期にしっかりと体に取り入れるという説や正月のごちそうで疲れた胃腸をいたわるためという説があります。これらの説に共通するのは、病気をせず、健康に過ごしたいと願う先人の思いです。本園では食育を大切にして、野菜や米を栽培して料理する活動を多く取り入れています。また、こうした行事食を体験することで、日本の食文化に触れ、食と健康について考えるきっかけになればと思います。



3 歳からの性教育

今月は、身体測定の前に養護教諭が性教育をテーマにした絵本の読み聞かせをしています。使用しているのは『だいじだいじどーこだ』という絵本です。この絵本のサブタイトルには「はじめての『からだ』と『性』のえほん」とあります。ページを少しめくってみると、「体は、どこも大事だけど、中でも特に大事なところがあるよ。」の呼びかけに、「パンツのなかは とくべつだいじ」「おむねもおくちも とくべつだいじ」と続きます。養護教諭の読み聞かせに、子どもたちは真剣な表情で聞き入っていました。

今回は、各学年に応じて読み聞かせの場面を変えながら、自分の体のことについて考えてもらっています。子どもたちが園生活を気持ちよく過ごす上でも、こうした性教育の取り組みは大切であると考えています。



タブレットで遊んだよ。

1 月 17 日に年長さんがタブレットを活用した活動体験をしました。幼稚園における ICT 教育はまだ試行的な段階ですが、子どもたちがタブレットに触れる機会は、今後増えていくことが予想されます。今回、子どもたちが体験したアプリは、「おとねんど」「チョキペタ」「マジカルレンズ」です。「おとねんど」を体験したクラスでは、カエルが鳴く声や雨が降る音を子どもたちが、つくり、加工して、発表していました。自分たちで音をつくること自体が、子どもたちには新鮮で、興味深そうに活動していました。子どもたちの姿からタブレットの活用のよさや可能性を感じることができました。



年中さんがハガキをポストに投函

年中さんが、ハガキをポストに投函する体験をしました。今回のハガキは年賀状で、自分宛です。ハガキの裏は、だるまの折り紙を貼り、住所は、おうちの人に書いてもらいました。実際にハガキを投函する時は、大事そうにポストに入れているのが印象的でした。中には「ちゃんとおうちにつきますように」とお願いしているお友だちもいました。

今の時代、メールや電話、スマホで用件を済ませてしまうことが多くなりました。しかし一方で、郵便には郵便ならではのよさがあります。クラスに戻ってからは、郵便が家に届くまでの様子を動画で視聴しました。社会のしくみを学ぶよい機会になりました。

